美濃市の魅力発信 ショート動画募集

24日から 観光PRで活用

美濃市は、市内の魅力を発信する「市観光PRショート動画コンテスト」を初開催すると発表した。うだつの上がる町並みや美濃和紙をはじめとする伝統文化、長良川や山などの豊かな自然、新たな魅力あるスポットなどを15～60秒の縦動画で募り、SNS（交流サイト）時代に合わせた新たな観光PRに役立てる。応募期間は24日から12月31日まで。

「美濃市観光PRショート動画コンテスト」の開催を発表した篠田啓介市長（左）ら＝美濃市上条、市防災・中央コミュニティセンター

市民や観光客、若者が、それぞれの視点で感じた地域の魅力を市内外に幅広く発信することで、多くの人に市の新たな魅力を知ってもらい、観光誘客や地域活性化、市民の地域への愛着につなげる狙い。

作品は、「一般部門」と、「高校生以下部門」の2部門で募る。観光、映像、SNS、地域などの観点から小中高生などを対象とした一般部門の最優秀賞には10万円分、高校生以下部門は3万円分の商品券や市の特産品を贈る。優秀賞も両部門で2作品ずつ設けた。入賞作品は市公式のホームページやSNS、ユーチューブのほか、観光イベントなどで活用する。

市内などでドローン事業を展開するROBOZ（名古屋市、石田宏樹社長）がコンテストの運営を担い、9月下旬ごろには同社が動画制作に慣れていない地域の高校生などを対象とした動画制作講習会を開く。

応募は、同コンテスト公式LINE（ライン）＝QRコード＝から。年齢やプロ・アマは問わないが、未発表の作品に限る。人工知能（AI）によってすべて生成された作品は応募対象外。

篠田啓介市長は「多くの人に参加してもらい、市の魅力をPRする動画がたくさん集まることを期待している」と話した。（山岸達矢）

無断複製・転載を禁じます